

## シラバス

ナンバリングコード/ 科目番号	HE32013	
科目名	生化学成分検査学実習	
科目名 (英語)	Practice of Clinical Biochemistry	
授業形態	実習	
標準履修年次	2年次	
実施学期・曜時限等	秋 A, B 月 3-5 秋 C 月 3-4	
使用教室	4B211	
単位数	2	
担当教員名	正田 純一 (4A 棟 860・5795) 會田 雄一 (4B 棟 215・3445) 中川 嘉 (イノベーション棟 703・3345) 蕨 栄治 (動物資源センターA 棟・6963)	
備考	実務経験教員: 正田 純一, 中川 嘉, 蕨 栄治, 會田 雄一	
使用言語 (☑してください)	<input type="checkbox"/> 日本語 ・ <input type="checkbox"/> 英語 ・ <input checked="" type="checkbox"/> バイリンガル	
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント (TA)	なし	
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めない. 事前連絡をしてから訪問すること	
学位プログラム・コンピテン スとの関係	汎用	
	医療	2.人間の健康と疾病の理解 3.臨床検査の知識と実践力
	国際	2.人間の健康と疾病の理解 3.臨床検査の知識と技術
授業の到達目標 (学修成果)	血清の生化学成分検査について, 糖質, 電解質, 蛋白, 非蛋白性窒素, 脂質および酵素の定量検査についての検査手技を十分修得する. また, 検査結果をどう評価したらよいかの考え方や, 病態解析のための検査法の組み立て方, および精度管理について学生自身が計画を立案して問題解決を図れるような実力を体得する.	
他の授業科目との関連	生化学成分検査学	
履修条件	なし	
授業概要	生体試料 (主に血液) に含まれる生化学成分を, それぞれの測定法に従い測定, 分析する. また, 測定に必要な試薬の調製, 正しい器具の扱い方についても実習する. さらに測定結果について, 分析上の変動因子や生理的変動要因を考慮しながら, 基準値等を用いて分析結果を評価し, レポートとして提出する.	
キーワード	臨床化学, 測定法, 精度管理, 病態生理	
授業計画	学校現場における実務経験がある教員が, その経験を活かし, オムニバス形式により, 生化学成分のそれぞれの測定法, 測定に必要な試薬の調製, 正しい器具の扱い方について関する実習をおこなう.	

<p>授業計画</p>	<p>第1回 10/7(月): オリエンテーション, 試料と試薬の調製  第2回 10/18(金): 総タンパク質と血清アルブミン検査法  第3回 10/21(月): タンパク分画検査法  第4回 10/28(月): 非タンパク性窒素検査法1: クレアチニンとクレアチニン・クリアランス  第5回 11/6(水): 非タンパク性窒素検査法2: 尿素窒素  第6回 11/18(月): 非タンパク性窒素検査法3: ビリルビン  第7回 11/25(月): 脂質検査法1: リポタンパク分画検査法  第8回 12/2(月): 脂質検査法2: 総コレステロール, HDL-コレステロール, トリグリセリド  第9回 12/9(月): 試料と試薬の調製2  第10回 12/16(月): 酵素検査法1: ALP  第11回 12/23(月): 酵素検査法2: AST  第12回 1/6(月): 酵素検査法3: LD と LD アイソザイム  第13回 1/22(水): 無機質検査法1: カルシウムと無機リン  第14回 1/27(月): 無機質検査法2: 鉄と TIBC  第15回 2/3(月): 実習試験 (実技および筆記)  2/10(月): 予備日</p>
<p>学修時間の割り当て及び授業外における学修方法</p>	<p>実習 (100%)</p>
<p>単位取得要件</p>	<p>出席状況 (70%以上の出席), レポート提出, および期末試験 (実技および筆記) の成績 (60%以上の得点) を必須とする.</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>出席状況, レポート提出, 期末試験 (実技および筆記) の点数に基づいて標語 (A+~C) で評価する.</p>
<p>教材・参考文献・配付資料等</p>	<p>指定教科書: 医歯薬出版・臨床検査学講座「臨床化学検査学」  実習書を配布する.</p>
<p>その他 (受講生にのぞむことや受講上の注意点等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 出席率 70% 未満の場合は期末試験を受けることが出来ない.</li> <li>2. 一度でも D 評価のレポートがあった場合には, 期末試験を受けることが出来ない.</li> <li>3. 他学生のレポートをコピー&amp;ペーストしたレポートは D 評価となる.</li> </ol>